

## 1. 略歴

1974年3月	群馬県立前橋高等学校卒業
1974年4月	静岡大学人文学部人文学科入学
1978年3月	静岡大学人文学部人文学科卒業
1978年4月	静岡大学人文学部人文学科研究生
1979年3月	静岡大学人文学部人文学科研究生修了
1979年4月	筑波大学大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻博士課程入学
1986年3月	筑波大学大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻単位取得退学
1986年4月	筑波大学大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻研究生
1987年12月	筑波大学大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻研究生修了
1988年1月	国立歴史民俗博物館考古研究部助手
1996年4月	国立歴史民俗博物館考古研究部助教授
2004年4月	駒澤大学文学部歴史学科助教授
2006年12月	博士(文学)取得(筑波大学)
2007年4月	駒澤大学文学部歴史学科教授
2010年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本考古学

### b 研究課題

- (1) 縄文時代から弥生時代への移行問題の研究
- (2) 縄文・弥生時代の葬墓制の研究
- (3) 縄文・弥生時代の通過儀礼の研究

### c 主要業績

#### (1) 著書

- 共著、武末純一・森岡秀人・設楽博己、『列島の考古学3 弥生時代』、河出書房新社、2011.7  
共編著、設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦『多様化する弥生文化』第3巻 弥生時代の考古学、同成社、2011.5  
共編、設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦『古墳時代への胎動』第4巻 弥生時代の考古学、同成社、2011.8  
共編、設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦『弥生研究の歩みと行方』第9巻 弥生時代の考古学、同成社、2011.11

#### (2) 論文

- 設楽博己、「弥生絵画と方相氏」、『史学雑誌』、第119編第9号、1525～1527頁、2010.9  
設楽博己、「入墨からみた邪馬台国の位置」、『文化交流研究』、第24号東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要、1～7頁、2011.3  
設楽博己、「盾持人埴輪の遡源」、『川西宏之編『東国の地域考古学』』、123～134頁、六一書房、2011.3  
設楽博己、「弥生式土器の発見」、『弥生誌—向岡記碑をめぐって—』、63～72頁、東京大学総合研究博物館、2011.4  
設楽博己、「弥生中期という時代」、『弥生時代の考古学』、第3巻 多様化する弥生文化、3～24頁、同成社、2011.5  
今村峯雄・設楽博己、「炭素14年の記録からみた自然環境—弥生中期—」、『弥生時代の考古学』、第3巻 多様化する弥生文化、48～58頁、同成社、2011.5  
設楽博己、「社宮司遺跡の多鈕無文鏡によせて」、『佐久考古通信』、第108号、13頁、佐久考古学会、2011.7  
設楽博己、「男と女の弥生時代」、『列島の考古学』、第3巻 弥生時代、51～63頁、河出書房新社、2011.7  
設楽博己、「弥生人の生い立ち」、『列島の考古学』、第3巻 弥生時代、64～66頁、河出書房新社、2011.7  
設楽博己、「まぼろしの弥生都市」、『列島の考古学』、第3巻 弥生時代、67～81頁、河出書房新社、2011.7  
設楽博己、「トイレの考古学」、『列島の考古学』、第3巻 弥生時代、82～84頁、河出書房新社、2011.7  
設楽博己、「日本列島南北の異文化—続縄文文化と貝塚後期文化—」、『列島の考古学』、第3巻 弥生時代、104～106頁、河出書房新社、2011.7

設楽博己、「弥生時代の農耕祭祀」、『講座日本の考古学』、第6巻 弥生時代(下)、316～344頁、青木書店、2011.9  
設楽博己、「信濃の弥生墓制」、『長野県考古学会誌』、第138・139号、111～113頁、長野県考古学会、2011.11

(3) 書評

磯前順一、『記紀神話と考古学—歴史的始原へのノスタルジア—』、角川学芸出版、設楽博己、『季刊考古学』、第113号、116頁、雄山閣、2010.11

(4) 学会発表

国内、設楽博己、「シナノとツクシー—弥生文化の交流—」、『古代シナノ地域史の再構築—地域から古典を読み直す—』、社団法人金鶏会・科学研究費補助金(学術創世研究費)「目録学の構築と古典学の再生」共催シンポジウム、ホテル犀北館、2011.10.15

国内、山田康弘・設楽博己・茂原信生・増山禎之、「愛知県田原市保美貝塚における盤状集骨葬の調査」、日本考古学協会第77回総会、國學院大學、2011.5.29

国内、設楽博己、「弥生再墓の成立と祭祀」、日本考古学協会2011年度栃木大会シンポジウム「考古学からみた葬送と祭祀」、國學院大學栃木学園教育センター2・3Fレクチャーホール、2011.10.16

(5) 研究報告書

設楽博己、「上本郷遺跡出土の縄文時代後期から晩期を中心とする考古資料」、『松戸市考古資料集4』、松戸市立博物館、25～37頁、2010.3

設楽博己、「遠賀川式と亀ヶ岡式の接点」、『南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター2010年度年次報告書』、南山大学人類学博物館、24～25頁、2011.3

(6) 予稿・会議録

国内会議、設楽博己、「弥生時代の始まり」『平成22年度考古学ゼミナール 始まりの考古学』、神奈川県埋蔵環境文化財センター、9～10頁、2010.10

国内会議、設楽博己、「再墓とその社会」『公開講座「ひたちなか市の考古学」第3回 弥生時代の墓制と社会』、ひたちなか市埋蔵文化財調査センター、3～14頁、2010.11

国内会議、設楽博己、「先史時代の人々は骨をどのように扱ったか—再葬と祖先祭祀—」、『東京大学公開講座講義要項 ホネ—万物を架橋する—』、東京大学、33～36頁、2010.11

国内会議、山田康弘・設楽博己・茂原信生・増山禎之、「愛知県田原市保美貝塚における盤状集骨葬の調査」、『一般社団法人 日本考古学協会第77回総会研究発表要旨』、一般社団法人日本考古学協会、182～183頁、2011.5

国内会議、設楽博己、「日本におけるイレズミの起源と謎」、『2011年特別展 弥生人の姿—倭人伝の人々—』、出雲弥生の森博物館、32～35頁、2011.7

国内会議、設楽博己、「縄文人と耳飾り」、『縄文人のKAZARI—顔を飾る縄文人—』、十日町市博物館、10～12頁、2011.7

国内会議、設楽博己、「弥生再墓の成立と祭祀」、『一般社団法人 日本考古学協会2011年度大会研究発表要旨』、一般社団法人日本考古学協会、32～33頁、2011.10

(7) 共同研究(産学連携除く)

国内、参画、国立歴史民俗博物館、「総合的年代研究 歴史・考古資料研究における高精度年代論」、2010～

(8) 共同研究・受託研究

共同研究、設楽博己、国立歴史民俗博物館、「総合的年代研究 歴史・考古資料研究における高精度年代論」、2010～

共同研究、設楽博己、国立歴史民俗博物館、「新しい古代像樹立のための総合的研究 農耕社会の成立と展開—弥生時代像の再構築—」、2010～

共同研究、設楽博己、国立歴史民俗博物館、「柳田國男収集考古資料の研究」、2011～

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、駒澤大学文学部、「考古学特殊講義」、2010.4～

非常勤講師、東京学芸大学文学部、「考古学特殊講義」、2011.4～2011.9

特別講演、留辺蘂公民館公会堂、「弥生時代の北海道」、第15回東京大学文学部公開講座 道民カレッジ連携講座、2011.6.11

特別講演、南山大学、「遠賀川式と亀ヶ岡式の接点(南山大学オープンリサーチ『高蔵遺跡に始まる弥生時代前期の諸関係』)、2011.6.26

特別講演、出雲弥生の森博物館、「日本におけるイレズミの起源と謎」、2011年出雲弥生の森博物館特別展記念講演、  
2011.7.30  
特別講演、十日町市博物館、「縄文人と耳飾り」、平成23年度夏季特別展 縄文のKAZARI—顔を飾る縄文人—記  
念講演会、2011.8.6  
特別講演、仙台市体育館研修室、「発掘された動物たち—縄文・弥生時代の動物形土製品—」、平成23年度特別企  
画展「動物の考古学」記念講演会、2011.9.3  
特別講演、前橋ホテル2F紅雲、「設楽コレクションとは何か」、『講演会時空を越えてふるさとの魅力再発見』平成  
23年度群馬県文化資産発掘・活用事業、2011.9.24  
特別講演、神奈川県埋蔵環境文化財センター、「関東地方における農耕文化の成立」、神奈川考古学同好会10月例  
会、2011.10.21  
セミナー、ひたちなか市埋蔵文化財センター、「再葬墓とその社会（公開講座「ひたちなか市の考古学」第3回『弥  
生時代の墓制と社会』）2010.2.27  
セミナー、飛ノ台史跡公園博物館、「墓制から読み解く先史社会—縄文から弥生へ—（『飛ノ台史跡公園博物館 縄  
文大学』）、2010.10.6  
セミナー、神奈川県埋蔵環境文化財センター、「弥生時代の始まり（平成22年度考古学ゼミナール『始まりの考古  
学』）」、2010.10.8  
その他、朝日カルチャーセンター横浜、「弥生時代研究の最前線—邪馬台国とその南北世界—」、2010.7～2010.9  
その他、朝日カルチャーセンター横浜、「縄文時代研究の最前線—さまざまな疑問に答える—」、2011.2～2011.3  
その他、朝日カルチャーセンター横浜、「儀礼と祭祀の考古学—縄文から律令時代まで—」、2011.10～2011.12  
その他、静岡市SBS学苑、「古代史探訪 縄文文化研究の最前線—さまざまな疑問に答える—」、2011.4  
その他、静岡SBS学苑、「古代史探訪 縄文の農耕・弥生の農耕」、2011.10

(2) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

新潟県教育委員会、新潟県村上市山元遺跡調査指導委員会委員、2010.4～2012.3  
静岡市教育委員会、静岡市文化財保護審議会委員、2010.4～  
静岡県教育委員会、静岡県出土文化財価格評価員、2010.12～  
佐倉市教育委員会、史跡井野長割遺跡整備検討会委員、2010.4～  
佐倉市教育委員会、佐倉市文化財保護審議会委員、2011.4～  
伊豆の国市教育委員会、大仁町史編纂委員会委員、2010.4～  
考古調査士資格認定機構、考古調査士資格認定機構資格審査専門委員会委員、2010.4～  
国立歴史民俗博物館、国立歴史民俗博物館採用・昇任選考委員会委員、2010.7～2010.8  
国立歴史民俗博物館、客員教授、2011.4～  
群馬県教育委員会、群馬県文化財保護審議会委員、2010.8～2012.7  
松戸市教育委員会、松戸市史上巻改訂事業原始・古代部会員、2011.4～